

(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

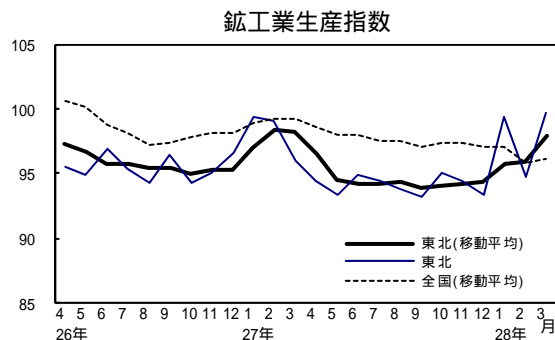
前回調査からの主要変更点

| | 前回 (平成 28 年 2 月) | 今回 (平成 28 年 5 月) | |
|-------|---------------------|-------------------------------|--|
| 景況判断 | 弱さがみられるものの、緩やかな回復基調 | <u>一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調</u> | |
| 鉱工業生産 | 弱含み | <u>おおむね横ばい</u> | |
| 住宅建設 | 減少 | 増加 | |

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は、おおむね横ばいとなっている。

1～3月期は、電子部品・デバイスは、データ・センター向けのシリコンウエハ等が増加した。はん用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置が引き続き堅調だったこと等から増加した。食料品・たばこは、生菓子等が減少した。情報通信機械は、携帯電話・PHSが増加した。輸送機械は、機関部品等が増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

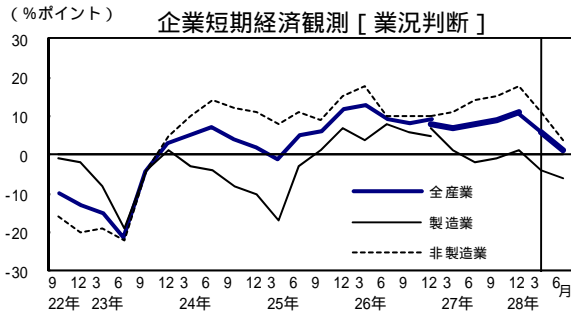
| | 付加価値 ウェイト | 生産 | | | | |
|---------------|--------------|-------------|-----------|------|------|------|
| | | 10～12 月期 | 1～3 月期 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 電子部品・デバイス | 16.9 | 0.5 | 2.2 | 3.7 | 2.5 | 3.8 |
| はん用・生産用・業務用機械 | 14.7 | 4.4 | 6.1 | 17.1 | 14.9 | 24.9 |
| 食料品・たばこ | 10.6 | 4.5 | 3.1 | 4.6 | 2.8 | 0.7 |
| 情報通信機械 | 9.2 | 7.0 | 1.3 | 6.7 | 0.1 | 0.1 |
| 輸送機械 | 8.3 | 0.9 | 1.0 | 9.2 | 13.8 | 15.6 |
| 鉱工業 | 100.0 | 0.5 | 3.8 | 6.4 | 4.7 | 5.2 |

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東北の大線は後方3か月移動平均。

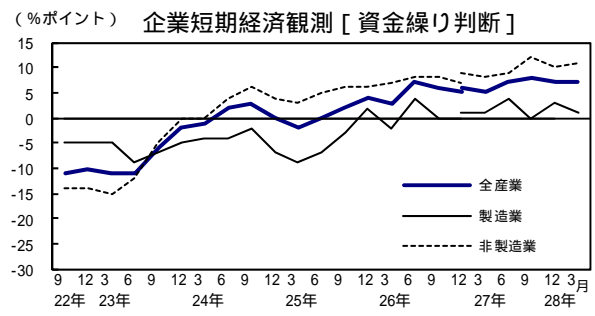
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
2. 1～3月期、3月は速報値。

(2) 企業動向の業況判断は、「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

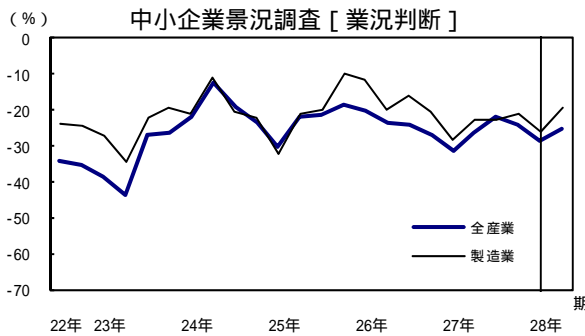
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。28年6月は予測。26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。26年12月は新・旧基準を併記。

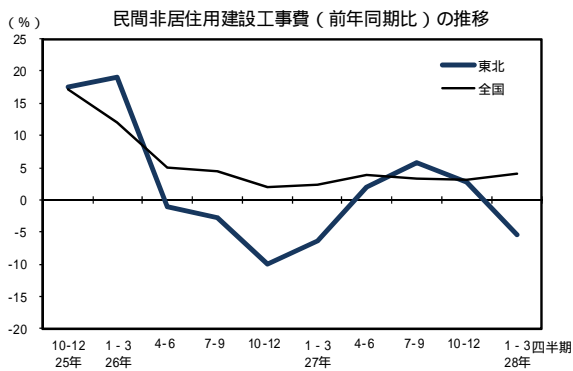


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。28年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「3月下旬にオープンした駅ビル商業施設は、地下鉄新規路線開通もあり好調である。中心部の百貨店や専門店にも波及効果があり、2か月連続の増加となっている。そのため、広告市場も底堅いといえる(広告業協会)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は、減少している。



企業短期経済観測調査[設備投資(3月調査)]

(前年度比、%)

| | 27年度実績見込み | 28年度計画 |
|------|------------|--------|
| 全産業 | 9.0(1.2) | 3.4 |
| 製造業 | 7.0(2.0) | 9.1 |
| 非製造業 | 11.0(0.2) | 2.9 |

(備考) ()は前回(12月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.2%増、2月は同0.4%減、3月は同0.7%増となった。

百貨店・スーパー販売額

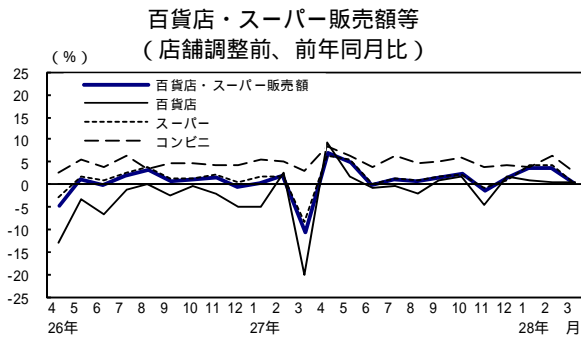
百貨店は、1月は、衣料品はふるわず前年を下回った。飲食料品は、精肉などに動きがみられ前年を上回った。また、高級時計などの高額品や化粧品等に動きがみられ前年を上回った。2月は、衣料品はふるわず前年を下回った。飲食料品は、総菜などに動きがみられたほか、催事も好調で前年を上回った。3月は、衣料品はふるわず前年を下回った。飲食料品は、催事が好調で前年を上回った。

スーパーは、精肉、総菜等に動きがみられたことから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

東北地域の家計動向関連DIは、42.5となり前月より4.1ポイント低下した。

「新年度に入り、新生活、返礼ギフトや高額商材、紳士衣料が伸び悩んでいる。全体的に来客数が減少しており、接客をしていますが、客から生活防衛的な話を多く聞いている(百貨店)」など、「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

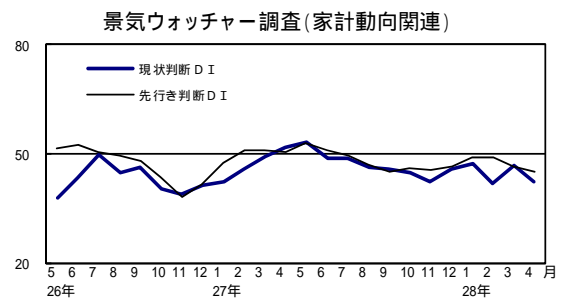
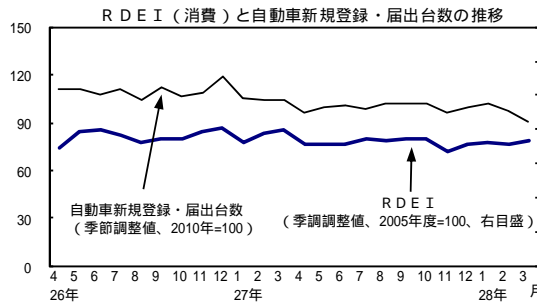


| | 28年1-3月 | 28年1月 | 2月 | 3月 |
|--------------|---------|-------|------|------|
| RDEI (消費*1) | 0.3 | 0.2 | 0.4 | 0.7 |
| 百貨店・スーパー(*2) | 2.5 | 3.7 | 3.7 | 0.3 |
| 百貨店(*2) | 0.7 | 1.0 | 0.7 | 0.5 |
| スーパー(*2) | 2.8 | 4.2 | 4.3 | 0.1 |
| コンビニ(*2) | 4.4 | 4.0 | 6.6 | 2.8 |
| 乗用車(*3) | 9.2 | 6.4 | 13.5 | 2.0 |
| (季節調整値)(*3) | 2.7 | 3.9 | 6.8 | 10.6 |

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

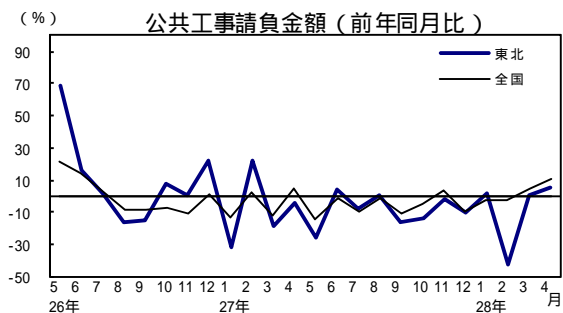
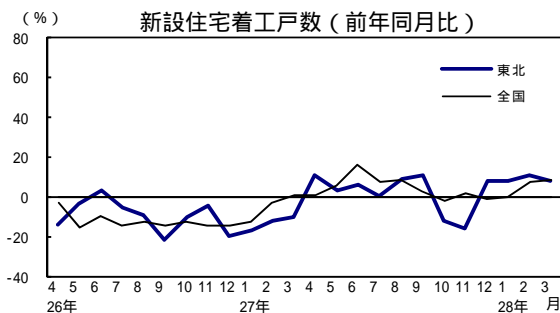
3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比)(%)



(2) 住宅建設は、増加している。

貸家、分譲が前年を上回ったことから、全体では増加している。

(3) 公共投資は、27年度累計でみると前年度を下回っている。

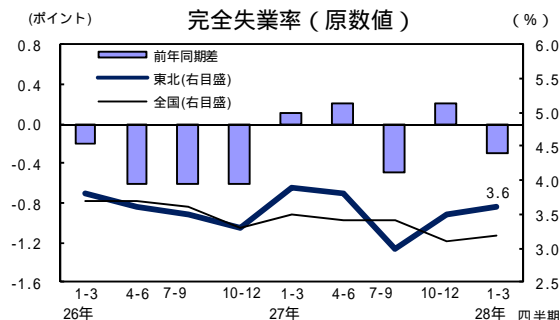
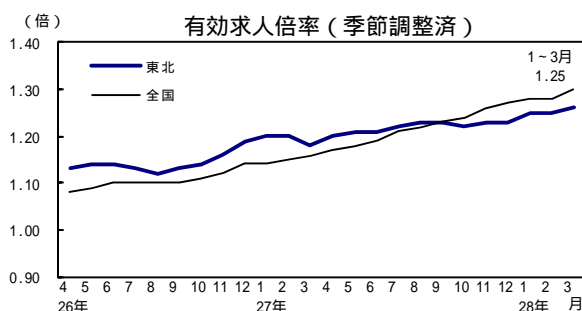


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は、着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査（4月調査結果）[雇用関連（現状）]

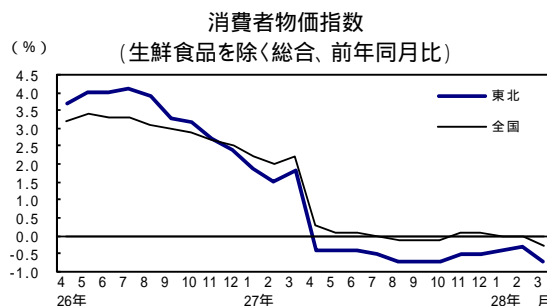
「4月に新卒の入社や組織体制を変更した企業が多いが、今年度の目標達成に向けて積極的に中途採用を行う企業が増えてきている（人材派遣会社）」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばい、負債総額は減少している。

(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

| | (件、億円、%) | | | | |
|-------|----------|------|--------|---------|-------|
| | 27年4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 28年1-3月 | 28年4月 |
| 倒産件数 | 109 | 83 | 105 | 118 | 31 |
| (前年比) | 1.8 | 25.9 | 8.2 | 0.9 | 3.1 |
| 負債総額 | 173 | 173 | 331 | 219 | 61 |
| (前年比) | 13.6 | 47.3 | 68.9 | 11.4 | 7.8 |



景気ウォッチャー調査（4月調査結果）[合計（景気判断において熊本地震に言及したもの）]

<現状>

・熊本地震を機に、ごちそうを控えめにするなど、買物が少し抑え気味になっている様子うかがえる（スーパー）。

<先行き>

・熊本地震による直接的な被害はないものの、大手企業で生産が停滞していることから、少なからず影響は出てくるとみている（輸送用機械器具製造業）。

景気ウォッチャー調査
(合計：家計動向関連+企業動向関連+雇用関連)

